

研究者のための

# ライティング・リトリート

with ワンポイント英文個別相談 & ミニセミナー

事前申込受付中

ライティング・リトリートとは、英語論文執筆に適した環境を4日間連続して提供するものです。普段、執筆のための塊の時間がなかなか取れないという研究者の方は、この機会に英語論文執筆という目的を共有する方々と執筆に集中してみませんか。希望される方にはネイティブの専門家による個別相談、ミニセミナーを受ける機会も設けます。

会場

創成科学研究機構 4階セミナー室 BC

2019年 **3/5,6,7,8** 9:00-15:30

申込締切

2019年 **2/15** (金) 正午

参加可否を2/15中にお知らせします

対象

**教員，ポスドク** など **10名**

- 1) 査読付き英文学術誌への掲載もしくは投稿経験がある方
  - 2) 本学に所属している研究者（特任を含む）
- 応募者多数の場合、助教の方の参加を優先します。  
論文公刊後、HUSCAP掲載へご協力をお願いします

プログラム

1日目\*

午前 09:00集合 スタートアップ・ミーティング，ミニセミナー  
午後 各自個別に執筆，15:30プログラム終了後，各自適宜解散

2日目

午前 09:00集合 各自個別に執筆，  
午後 15:30プログラム終了後，各自適宜解散

3日目

午前 09:00集合 各自個別に執筆，  
午後 15:30プログラム終了後，各自適宜解散

4日目

午前 09:00集合 各自個別に執筆，  
午後 15:00 ラップアップ・ミーティング後，15:30解散

※初日の参加は必須です

詳細・申込

URAステーションウェブサイトをご覧ください



4日間の参加は難しい…という方はこちら◆*Writing effective research articles for international journals* (英語論文執筆法, 3/5) ◆*Teaching how to write research articles for international journals* (英語論文教授法, 3/6) ◆詳細はURAウェブで近日公開



## プログラム概要

毎回、参加者から好評をいただいているファカルティ・デベロップメントを実施します。

科学技術・学術政策研究所の調査によれば、教員の勤務時間に占める研究活動の割合は2013年に35%、02年の初回調査時点に比べると10%ポイント以上減っており、限られた研究時間の効率的な利用が課題となっています。今回のプログラムをきっかけに、意図的に他の用務から離れて、研究論文執筆という目的を共有する方々と執筆に専念することで、より効果的に研究成果を取りまとめませんか。

北大らしさを満喫できる北キャンパスで、執筆に適した環境を用意してお待ちしております。ぜひご参加ください。

## Q & A

### Q1 執筆に適した環境とはなんですか

A1 セミナー室に、専用の机と椅子、文房具をご用意します。印刷は、原稿データをお預かりして別室で対応します。執筆に専念いただくため、セミナー室内での携帯電話の使用は不可です。インターネットへの接続も原則こちらではご用意しません。先行文献の参照が必要な場合に備えてダウンロードした資料をデータで持参するなど、各自ご準備ください。

### Q2 4日間すべて参加しなければならないのですか。また英文個別相談、ミニセミナーの利用は必須ですか

A2 4日間すべて参加いただける方の参加を優先します。初日の参加は必須です。英文個別相談、ミニセミナーの利用は希望者のみです。英文個別相談については過去の利用者から、各自の執筆スタイルに応じた有益なアドバイスが得られると好評です。ミニセミナーは今回新規に企画したものです。これまでのリトリートの個別相談内容、校正テキストに基づき、参加者に共通して観察される傾向を踏まえた内容で構成します。セミナーのアウトライン（予定）は、ウェブサイトをご覧ください。

### Q3 過去の参加者はどのようにこのプログラムを活用したのでしょうか

A3 シニア（教授）から若手（助教）まで幅広い教員の方にご参加いただきました。論文の構想はすでにある程度固まっていた、英語テキストの執筆を開始するという段階で参加される方が多くいらっしゃいました。当初参加者ご自身で予定されていた執筆計画より、進捗が早かったというケース多いようです。また、すでに英文ドラフトをお持ちの方で、ブラッシュアップを目的に参加された方の中には、論文が完成し、次の論文構想に着手する段階まで進んだ方もいます。

### Q4 過去に参加したのですが、再度参加することは可能でしょうか

A4 応募者多数の場合は初めての参加者が優先となります。ご相談ください

続きはURAステーションウェブサイトへ



## ワンポイント英文個別相談について

相談者には、事前に校正を希望する英語テキスト（750単語程度）を提出していただきます。提出されたテキストは、エダンズに所属する当該分野の専門家校正をつけてお戻しします。

リトリート期間中に1回（30分程度）、個別相談の講師とマンツーマンで、論文構成、表現に関する相談ができます。個別相談は、事前に提出したテキストを中心に行います。

なぜその校正が必要だったのか、意図した内容・ニュアンスは校正後の英文に的確に反映されているのか、専門家に直接確認するチャンスです。個別相談の言語は英語です。



Dr. Trevor Lane  
シニア教育コンサルタント  
エダンズ

